

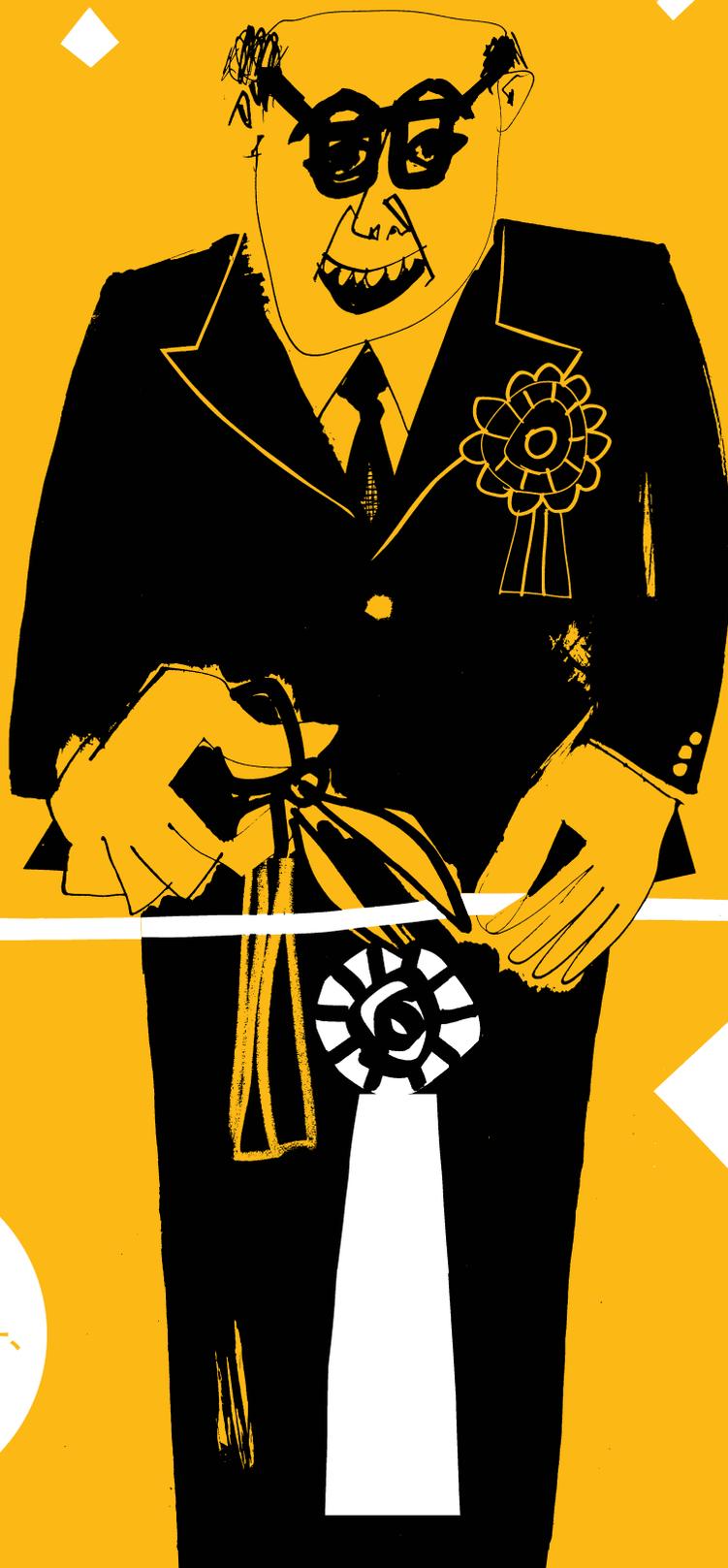
月刊島民

中之島

Vol.94 2016 5/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)

橋を渡る人の「街事情」マガジン



新中之島



ナカノシマ大学

「古地図ウォーカー、
大阪をゆく」

本渡 章

申し込み受付中!

新中之島

取材・文/江口由夏 大迫力(本誌) 写真/李宗和

近ごろの中之島界隈には、ニュースがいっぱいだ。図書館などの公共施設や、商業施設もぞくぞくりニューアルオープンし、従来のイメージを一新したものもある。そんな個々のニュースを追っていくと、中之島全体がこれからどのような街になっていくか俯瞰できるかもしれない。



長居したい カフェ誕生。

カフェ[スモープローキッチン]の目玉であるオープンサンドは、野菜・肉・魚がバランス良く盛られてオシャレ。小ぶりサイズ3種盛1,350円をホットカフェオレ756円と。9:00AM~9:00PM (LO8:30PM) 不定休



新展開

中之島図書館×カフェ×ショップ。 重要文化財の決断と挑戦。

2013年から3年もの工事期間を経て、この4月1日にリニューアルオープンした中之島図書館。従来の役割に加え、館内には常時利用できるカフェやミュージアムショップが誕生し、貸室システムも利用できるようになった。ご近所の大阪市中央公会堂と大阪市立東洋陶磁美術館も巻き込んで、あたり一帯はどのような場になっていくのだろうか。



カフェが入る南棟の窓からは、夜は温かい光が漏れ、つい入りたくなる雰囲気。図書館は平日8:00PM、土曜5:00PMまで(日曜・祝日休)。

大阪府立中之島図書館の 新機能。

見慣れた石造りの図書館前に、出現した目新しい看板。長く閉ざされていた正面玄関の開放から1年が経つ4月1日に、中之島図書館内に初のカフェがオープンした。

正面玄関をくぐって渡廊下を突き当たった南棟の一室で、カフェ「スモープローキッチン」は産声を上げた。監修したのは元grafの堀田裕介さん。「料理開拓人」という肩書きで、全国を旅した先で出会った食材や生産に関わる人々を通じて、イベントや店づくりに携わっている。福島で昨年オープンさせたベーカリーのパンを上手く使いたいというアイデアはあったが、建物が重要文化財だけに「火は使ってはいけない」。「サンドイッチなら一旦だけで調理でき、素材の味も活かせますから。そこで最近注目されている北欧の食文化を取り入れて、日本の手巻き寿司ぐらいポピュラーな伝統的オープンサンド「スモープロー」をモデルにしました」

制約は調理法にとどまらず、その内装にも当てはまる。図書館そのものにむやみに穴を開けるわけにはいかないので、既存の床をかき上げし、照明は床に立たせたスタンドで解決。北欧インテリアをレイアウトした、つまりは

新登場

「持ち帰り用」
公会堂、あります



左/オーダーメイドスタンプ[gobe]が中央公会堂のファンだったことがきっかけで生まれたスタンプ1,800円 右/モロゾフのファヤージュが入った缶は、リクエストを受けて2タイプの新デザインで登場。各650円

大阪みやげにイチオシ。 大阪市中央公会堂の新グッズ。

府外からも来館者が多く、年々外国人観光客も増加中。そこで「2018年の100周年に向けてふさわしいグッズを」という動きが活発になり、この春は公会堂のミニチュア版のごときスタンプや、イラスト化されたオリジナルパッケージの菓子などが「公会堂SHOP」に登場。また、中之島図書館に先駆けて貸室システムを設けている「先輩」として、各部屋の利用スタイルを提案するコンシェルジュサービスを目指している。中之島のシンボルらしく、そのおもてなしにも磨きがかかるようだ。

☎06-6205-3770 10:00AM~6:00PM
第4火曜休(公会堂SHOP)

実はこっそり
再オープン

新装



重要文化財
褐釉高浮彫蟹花瓶
(東京国立博物館蔵)

大阪市立東洋陶磁美術館には、 夏にかけてお宝集結中。

この2月から3月にかけ、たっぷり2ヶ月間休館していた東洋陶磁美術館が、中之島図書館と同じ4月1日にリニューアルオープン。改修工事のため、といっても屋上などわかりにくい部分だが、昨年の改修工事と合わせて館内のサインやミュージアムショップの拡大など、通ならわかる(?)変更が施された。すでに現地では7月31日(日)まで続く大規模特別展「没後100年 宮川香山」が開幕。

☎06-6223-0055 9:30AM~5:00PM(入館は4:30PMまで)
特別展は観覧料1,200円 月曜、7月19日休(7月18日は開館)



買える図書館セレクト。

複写室の向かいにある一室では、小洒落た文房具や、特別展示にまつわるグッズを販売。「中之島図書館オリジナルの商品も増やしていきます」(乾さん)。また、同ショップ内にはコンシェルジュが常駐する。

「セット」である。さらに「店の前の空き地には農園を作ります」。収穫した野菜やハーブは店のテーブルへ。店から出た生ごみは堆肥として農園へ。オフィス街の真ん中で、まさか地産地消の料理が味わえるとは。「重要文化財という縛りはあ

「人が集まる 中之島1丁目」へ。

りますが、図書館側が斬新だと面白がってくれたおかげです」

中之島図書館の新機能は、カフェだけに留まらない。館内にはステーションリーグズなどを扱うショップが設置され、一室をイベントやバーティ会場として借りられるシステムも誕生。もはや、読書だけの場所ではない。カフェに出入りする人の流れに交じり、さっそくショップにはセレクトされた文房具を「なんだか懐かしい」と購入していく人が。スタッフの引率で、館内ガイドに聴き入る人々もいる。これからは週に一度、一般向けのツアー

が実施されるそうだ。「たとえば、お隣の大阪市中央公会堂との連携イベントなどもこれから企画していきます」と、ショップ運営や貸室受付など、中之島図書館に関わる新事業を担当する乾竜一さんは話す。同じ中之島1丁目には、中央公会堂も東洋陶磁美術館もあり、さらに人が集まる文化ゾーンとして成長するとのこと。「周辺施設と積極的に情報交換しながら、中之島全体をPRしたい。やっぱり目に見えて増えているのは外国人観光客の方。日本と海外が交流できるようなイベントも、館内を使って開きたいです」と、日々頭をひねってアイデアを出している。

リニューアル前、「従来の図書館施設ではなく、貴重な建物や所蔵資料を活用できる文化事業の拠点(中之島図書館総務課長の杉本洋一さん談)を目指していた中之島図書館。再オープンした今、新機能が増え、来館する目的が細分化することで、そのアプローチ

夢がふくらむ部屋。

貸スペースである北棟2階の一室は展覧会に、柱が立派な北棟3階の広いホールは100人規模のパーティーにぴったり。詳細や申込は新設の中之島図書館情報サイト<https://www.nakanoshima-library.jp/>からどうぞ。



「運命」としての ツインタワー。

地上200mのタワーが四つ橋筋を挟んで並び建つ。渡辺橋から見上げる風景は、間違いなく今までの中之島の歴史にはなかったものだろう。

2012年11月に開業した中之島フェスティバルタワーに続き、来年3月に竣工予定の中之島フェスティバルタワー・ウエスト。今月中に外装の仕上げ工事を終え、いよいよツインタワーが目の前に現れることになる。

両タワーの設計を担当した日建設デザインフェローの江副敏史さんは語る。

「一番注目していただきたいのは、やはり二つのタワーを合わせた景観です。建設中のウエストは、東側のフェスティバルタワーの13階以上と同じ形をしており、基準階（6～31階）は東側と同じカーテンウォールのデザインになっていきます。また、両方も高さは地上200mとまったく同じです。こうした設計が可能だったのも、朝日新聞社グループが同じ大きさの

上層階はホテルに。

ウエストの33～40階には、ビル完成後の2017年夏にコンラッド大阪がオープンする。全室が50㎡以上で、1部屋あたりの広さはなんと国内最大級というからすごい。外観は下の基準階よりもやや繊細なデザインになっている。

これぞ現代的発想!

竹中工務店の新たな挑戦でもあった養生足場。安全性と効率性を両立する、21世紀型の工事現場と言ってもいいのかもしれない。大阪の中心である中之島での工事について、「見られている意識は常にありました」とな



陳さんに、「現場のスローガンは「見せる仕事を魅せる現場から」。」

正方形の敷地を二つ所有しておられたからこそ。一つの敷地に2本のビルが建つケースはありますが、道路を挟んで別々の敷地にツインタワーが建ち並ぶ例は、私の知る限り見当たりません」中之島のこの場所だから提案でき、実現したツインタワーを、江副さんは「運命みたいなもの」と表現する。そう思うと、この新しい風景がよりいっそう貴重なものに見えてくる。

新開発の「秘密兵器」。

その中之島フェスティバルタワー・ウエストの工事を手がけるのが竹中工務店だ。東側のタワーの施工で培った技術と経験を活かし、今回はさらにステップアップしようと、最新の技術を開発して工事に臨んでいる。中でも、外装・ホテルグループ長を務める陳雨青（ちんうせい）さんが胸を張って挙げたのが、鉄骨の骨組みを造る際に大活躍した「養生足場」だった。

建築現場では、危険防止や事故を起こさないようにさまざまな「養生」が施される。今回のような高層タワーの工事で最も懸念される

東から西へ、引き継がれる技術と心意気。 中之島フェスティバルタワー・ウエスト。

現在建設中の中之島フェスティバルタワー・ウエスト。外装の仕上げ工事も大詰めを迎え、来年春の竣工に向け、着々と工事が進んでいる。気になる中身はまだ先のお楽しみとして、ここではその現場の様子を少しだけご紹介しよう。

阪神高速には 細心の配慮。

今回の工事で最初に着手されたのは、阪神高速道路の上を覆うように建てられていた、旧朝日新聞ビルの体育館だった建物を取り除くことだった。建物を小さく切断し、旧ビルの屋上に上げた超大型クレーンで吊り上げて解体。阪神高速のリフレッシュ工事に合わせ、わずか5日間で行われた。高速道路の上には、落下による事故を防ぐため、現在も頑丈な鉄製の板が設置されている。



のは、部品などの落下だ。たとえ小さなボルト一本でも、これだけの高さになれば大惨事を招いてしまう。しかし、鉄骨の組み立ては工事の初期段階に行われるため、なかなか養生が行き届かない。そこで考えられたのが油圧によって自動で上昇する養生ネット付きの足場だった。

工事中、グレーのネットのようなもの（右写真）が外周を覆っていたのを覚えていた人もいないのではないだろうか。骨組みの作業に先行して、ネット付きのこの足場をまず上昇させる。すると、これが部品などの飛散を防ぐ役割を果たすと共に、作業のための足場にもなる。作業員は常に外部をネットに囲われた状態で、安全に施工することができるとのことだ。

「今までに手がけた工事でも、建物に先行して養生のみを行うというアイデアはありません。あべのハルカスの工事では自動で上昇するネットを導入しましたが、さらに足場を組み合わせることで、作業効率と安全施工につながりました」（陳さん）。ドイツのメーカーと共同で2年かけて開発されたこの足場は、いわば今回の工事のために生み出された秘密兵器なのだ。

また、足場にホイス式クレーン（天井などから吊り下げられているクレーン）を設置し、下階のカーテンウォールを取り付ける作業を同時に行えるよ

うになっている。せつ

かく上部にネットを伸ばして完全に鉄骨を組んでも、いつまでも下階の骨組みが露出したままでは、養生の観点からは心許ない。ガラスが入ればそれもまた養生の機能を果たすから、できるだけ素早く下階の仕上げ作業に取りかかれるようにとの工夫である。なんと考え抜かれたスマートな方法だろうか。

東から西へ、受け継がれたもの。

より速く、より安全に。技術開発の背景には、もちろん東側のタワーでの経験がある。だが、それだけではない。「東あつての西」という意味では、毎日働いている1000人近くの職人たちの存在にも着目してほしい」と陳さん

「朝日建築」の系譜。
建物の角が丸くなっているのは、東西のタワーに共通するデザイン。これはもともと西側の敷地に建っていた朝日新聞ビルや朝日ビルの意匠を受け継いだもの。朝日新聞社の建築のアイデンティティとして、外観を特徴づけている。

は話す。

「ここまでスムーズにできたのは、東と一緒に3年間働いた仲間たちと築いたチームワークがあったからです。私たちが新しい技術の開発に取り組んだのも、彼らの要望に応えてのもの。東のタワーの竣工時には、みんな『次も待てるよ』と言って、その時から今回の工事に合わせてスケジュールを空けてく

れていました。東の成功が、一人ひとりにとって大事なマイルストーンになったのだと思うと嬉しいですね」

持続性を意識したデザイン。
新しい風景ではあるが、「決して奇をてらっているわけではありません」と日建設計の江副さん。中之島に建つ多くの名建築の流れに敬意を払い、「100年、200年と時間が経つにつれて、街並みに溶け込んでいくようなデザインを意識しました」。低層部にレンガを用いているのも、そうした考えの表れとのこと。

最新技術



座談会参加者(右から)
 ●田辺三菱製薬株式会社 広報部
 上原妙子さん 濱田一子さん
 ●武田科学振興財団 部長
 福岡康近さん
 ●くすりの道修町資料館 館長
 深澤恒夫さん
 ●大日本住友製薬 コーポレートガバナンス部
 荻田 豊さん

「道修町ブランドで 一致団結する仲間です」。

濱田 今日集まった中で、一番できたてなのが田辺三菱製薬の史料館なんです。新社屋の竣工と同じく、今年の5月で1周年を迎えました。事前予約が必要にもかかわらず、団体見学者が多くて嬉しく思っています。ただ当初の悩みは、一度にたくさんの方に来てもらっても十分に回れるキャパシティがなかったこと。そこで相談したのが深澤さんでした。

深澤 我々が連携すれば、団体を2つに分けて、2つの施設を交互に見てもらう方法も可能なわけです。だったら、堺筋寄りのうちと御堂筋寄りの田辺三菱製薬の中間にある杏雨書屋や大日本住友製薬も巻き込んで、道修町通一つのミュージアムに見立てて見学してもらおうと。

上原 そんな連携を繰り返すうちにマップやポスターも完成して、一般の方

くすりの道修町資料館(少彦名神社内)

神農祭で有名な少彦名神社。境内横の社務所3階には漢方薬香る資料館が広がる。展示物は毎年春と秋に入れ替え。深澤さんの名物ガイドは電話にて問い合わせを。☎06-6231-6958
 10:00AM~4:00PM 入館無料 日曜・祝日休

新企画

今年7月30日(土)、神社で開催する「夏休み親子おくすり教室」では、昔の丸薬づくりを疑似体験できるラムネづくりや、夏バテに効く薬膳食材を学べる。事前予約制のため、詳細や申し込みは6月下旬頃、インコム社のwebサイトをチェック。



●カイゲンファーマ

●小野薬品 ●堺筋

道修町通

「くすりの町」の新しい目印です



新マップ

今回登場の4者肝入りで完成。各施設で配布しており、地図や展示情報、見学時間の目安が記載されている。



杏雨書屋(武田科学振興財団)

五代武田長兵衛が私財を投げうって貴重な医薬書を集集し、財団に寄贈したことに由来。古典籍だけでなく、実際の道具も鑑賞できる常設展は見応えあり。☎06-6233-6108 10:00AM~4:00PM 入館無料 土日祝休

にもずいぶん説明しやすくなりました。マップ内の空いている部分に、今後また別の製薬会社加わったりして。

深澤 「道修町ミュージアムストリート」宣言は、新たに仲間が増える追い風ですよ。私が館長として就任した4年前は、来館者の滞在時間って平均10分だったんです。資料を見るだけではすぐに飽きてしまうし、リピーターも望めない。そこで紙芝居を取り入れたり、大阪全体の歴史や時事の話題を解説に盛り込んだりと工夫しました。

300年以上歴史がある田辺三菱製薬さんを始め、名だたる製薬会社が拠点を置いた町のことを、そのベースからお知らせしていくのが私の使命かなと感じたので。

だから、2年前に大日本住友製薬さんがギャラリーを設置、杏雨書屋さんが十三から移転、昨年は田辺三菱製薬さんが史料館をオープンするという、個々の取り組みは嬉しかったな。

荻田 当社は、社屋の中に入ってもらうのは制約があったり難しかったものの、道修町と創業の背景を知ってほしいという思いから、ビルの外から見学してもらおうスタイルになりました。

閉鎖された海老江製薬所を俯瞰できるジオラマや動きがあるムービーは、足を留めてくれる方が多くて手応えを感じましたね。

今回の新連携をきっかけに、展示内



大日本住友製薬 展示Gallery

ガラス越しに、閉鎖された福島の海老江製薬所で長年稼働していたドイツ製の蒸留装置や濾過器がでんと構え、創業の背景を物語るパネルや海老江製薬所を再現した模型が見学可能。365日見に行けるのが嬉しい。



塩野義製薬

● 塩野香料

容も一新していきたいですね。たとえば、銅の精製に関わった豪商・住友家の歴史もご紹介したい。「天下の倉所」だった大坂の活気を知ってもらおううえで、当社にしか出来ない取り組みだと思っています。

濱田 道修町Ⅱ「製薬会社が集まるオフィス街」という認識だけでは、私たちもライバル同士だと思われるでしょうが、実は道修町の歴史を知ってほしいという仲間たち。

「道修町まちづくり協議会」のメンバーでもあるんですよ。

「街の変化と共に、企業も変わらなくては」。

深澤 大日本住友製薬さんのところは夜間もライトアップされていて、屋内とは違って自由な時に見られるのがいいね。杏雨書屋さんの入っているビルも、日没15分前から22時まで閉館後毎日ライトアップされていますね。

福岡 武田道修町ビルが価値ある建築物ということで、「生きた建築ミュー

新章突入

動き出す「道修町ミュージアムストリート」。

「くすりの町」として古くから知られる船場・道修町。この道修町ブランドの地名度を上げるべく、近年、拠点を置く老舗製薬会社らが手を組んだ。400年ある町の歴史から見ても、かなりの最新ニュースといえる。

御堂筋

田辺三菱製薬史料館

本社ビル2階にて、「現存する世界の製薬会社で2番目に古い」名に恥じぬ貴重な道具や文書をお蔵出し。現代っ子が喜ぶハイテクなコーナーも。☎06-6205-5100 10:00AM~5:00PM(最終入館は4:30PM) 入館無料(サイトから要予約) 土日祝休

新企画

6月5日(日)に、道修町を題材にした桂福丸さんの創作落語あり、高島幸次先生のトークありの1周年イベントを開催。申し込みは5月6日(金)より、同施設のサイトから。(先着順) <http://www.mtpc-shiryokan.jp>



ジウムフェスティバル」など、そこから一般の方に知ってもらう機会が生まれました。業界では、専門家が利用する図書資料館という位置づけ。国宝や重要文化財を含んだ収蔵品が約4万点・15万冊あって、展示内容には事欠きませぬ。解体新書は照明で劣化しないように入れ替えたりして(笑)

深澤 そんな貴重なものを、無料で見られる場所なんてないですよ。認知度は上がったと思いますが、新しいマンションが増えているので子育て世代にもアピールしていきたい。少彦名神社の神農祭もちょっと趣向に変化があったんです。子どもたちに喜んでもらえるゆるキャラを呼んだりして、これが好評ですね。夏休みは親子参加のおくすり教室も大人気。お母さんには健康と美容に適した薬膳講座をして、子どもたちには薬膳ドリンクやのど飴づくりにチャレンジしてもらったんです。

福岡 神農祭の時は、杏雨書屋も特別開館をしたのが良い機会でしたね。ちょっと子どもたちには難しいかなと思う内容もありますが。

上原 でも、住んでいる町で、小さい時に「本物」に出合えるのは幸福なことだと思いますよ。これがかっかけて医療関係を目指してくれたらもちろん嬉しい！ 街や住民の変化に合わせて休日も楽しめる、企業が提供できる場の在り方を考えたいですね。

新登場

「生きた建築」紹介パネルが、地下鉄駅ホームにお目見え。

さまざまな変化を遂げながらも、生き生きとその魅力を伝え続ける「生きた建築」。毎年のフェスティバルでもすっかりおなじみだが、この3月、大阪市営地下鉄のホームや駅構内に、50件の大阪セレクションに選ばれた建築を紹介するパネルが設置された。パネルが見られるのは御堂筋線淀屋橋・梅田・本町、四つ橋線肥後橋の各駅で、全22箇所。例え



ば淀屋橋駅なら大阪倶楽部など、それぞれの駅から最寄りの建築を写真入りで紹介するものほか、50件すべての写真が入ったものもある。生きた建築ミュージアム事業全体を紹介するパネルが、英語との2ヶ国語表記になっているのはグッドアイデアだ。どんどん増える外国人観光客に向けても、大阪の新しい魅力を発信できるのだから。



新店舗

まるごとカカオ・ファクトリー。北浜「五感」の新拠点。



大阪を代表するレトロ建築・新井ビルに一目惚れし「パティスリー」「五感」の浅田美明社長が北浜に本店を置いたのが2005年。10周年を経た今年、同じ北浜の高麗橋で、チョコレート専門店がオープンした。ジュエリーショップのような1階の販売スペース、2階の重厚なサロンに加えて、こちらは「棟まるごと」チョコレート工房になっている。というは、業界で話題になっている「Bean to Bar」（カカオ豆の選別から板チョコに生成するまでを行う過



Cacaotier Gokan 高麗橋本店
☎06-6227-8131
10:00AM~8:00PM (LO7:30PM)
※日曜・祝日は~7:00PM (LO6:30PM)

程のこと）仕様のお店だからだ。確かに1階の奥を覗かせてもらおうと、コーヒード豆の焙煎に使おうようなマシンが置かれ、香ばしい匂いが漂っていた。北浜本館から異動した小柴学シェフいわく、カカオ豆の産地によって焙煎する温度も異なり、「感覚や想像力を重視するパティシエに対し、シヨコラティエは湿度や時間などの数字を見極めなくてはいけない。文系と理系くらい違いますよ」。「メイドイン北浜」が増えるのは、本誌プレスとしては何とも喜ばしい。すでにサロンはサラリーマンがシヨコラ一粒で休憩、なんて使い方もされているそう。

最新刊

ナカノシマ大学の人気講座が1冊に。『すごいぞ! 私鉄王国・関西』。

最後は手前味噌ながら、ナカノシマ大学関連のニュースを。関西を走る大手私鉄5社を、独自のキーワードで読み解いた黒田一樹さんの「すごいぞ! 鉄道王国・大阪」シリーズが、ついに書籍になって発売された。5回連続満員御礼となった講座を元にさらに取材を重ね、関西の大手私鉄、すなわち阪急・南海・阪神・近鉄・京阪の個性を、車両や線路、



『すごいぞ! 私鉄王国・関西』
(黒田一樹著/1,800円+税/140B)
全国の書店にて発売中。黒田一樹さんは5月21日(土)のナカノシマ大学にも登場。新シリーズがスタートする。

の魅力の真相に迫っている。中之島を走る京阪電車のキーワードは「名匠」。新技術やサービスの導入を積極的に行うパイオニア精神や、特急車の歴史に見られる匠の技こそ、京阪電車の真髓なのだ。各社に脈々と受け継がれるこうしたDNAとも呼ぶべきものを読み解いていく1冊。読めばきっと電車に乗るのが楽しくなる。

サービス、さらにはアナウンスや整列乗車の仕方まで踏み込み、あらゆる面から分析。なぜ鉄道によってここまで個性が異なるのかを考察し、「私鉄王国」

新着情報

新島民も仲間入り。生まれ変わる「新ダイビル」&「ドーチカ」。

昨年竣工した堂島川沿いの新「新ダイビル」。巨大な屋上庭園やシンボルの羊像が地上に降り、この一帯では珍しい緑地として継承されたことが話題に。実は、この5月末に完全開業となるのをご存知だろうか。すでに商業ゾーンには、北新地や南森町から有名レストランが移転してきたが、今回は島之内から「懐食清水」、北摂から「ル・シユクレ・クール」と「ケ・モンテペロ」が仲間入り。どちらもファンが多い名店なので、



これを機に中之島に訪れる人が増えることを期待したい。一方、「島民企業の購買部」であるドーシマ地下センター、通称「ドーチカ」も絶賛リニューアル中。50周年を迎える今年7月1日までに、おなじみの天使モチーフから、堂島米会所をイメージした町家風



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の
懐徳堂
プロジェクト

鳥の目で見
た街の様子を眺める



◎今月の授業

【鳥瞰図】

2016年6月講座

「古地図ウォーカー、大阪をゆく」 第12回 快感と驚き、鳥瞰図の誘惑。

講師／本渡 章(作家)

今月の1枚
吉田豊
「大大阪市
市勢大観」
(大阪市立中央図書館蔵)

拡大して見ると「鳥瞰式立体図」と銘打たれたとおり、建物や施設が紙上に立ち上がり浮き出て見える。昭和10年(1935)刊。

天空から地上を見下ろす快感、風景を高精細度で見わたす驚き。

毎回、大阪のさまざまなエリアの古地図を眺めながら、現代の風景との違いから、街の歴史を辿っていく本渡章さんのこのシリーズ。今回は大阪を描いた「鳥瞰図」だ。イマジネーションあふれる鳥瞰図の世界を、誕生のルーツから説き起こす。江戸時代にその萌芽を見る鳥瞰図は、明治時代後半から大大阪時代にかけてめざましい進化を遂げる。数々の名作鳥瞰図とともに、

その歴史を一望しよう。また、今回は会場を大阪くらしの今昔館に移して開催。講座に続いて、ミュージアムに展示されている「大大阪市パノラマ地図」を見学しに行こう。江戸時代から現代にも脈々と受け継がれる、地図のアーティストと呼ぶべき鳥瞰図師たちの夢と技を堪能してほしい。

「モダン大阪 パノラマ遊覧」で、
「パースアイ」を体感しよう!

大阪くらしの今昔館8階の床面には、36倍に拡大された美濃部政治郎作「大大阪市パノラマ地図」が、ディスプレイによって映し出されている。まさに鳥瞰図の「パースアイ」を体感できる素晴らしい仕掛け。講座終了後に講師の本渡さんと一緒に見学に行こう。



募集要項	<p>「古地図ウォーカー、大阪をゆく」第12回</p> <p>日時／2016年6月12日(日)</p> <p>10:30AM~0:30PM頃(開場10:00AM~)</p> <p>※講座終了後、館内に移動。見学が終わりしだい、自由解散です。</p> <p>会場／大阪市立住まい情報センター 研修室(5階)</p> <p>受講料／2,500円(資料用大判古地図+ミュージアム見学付き)</p> <p>定員／80名</p> <p>主催／ナカノシマ大学事務局 協力／大阪くらしの今昔館</p>	<p>お名前・ご住所・電話番号・人数・講座名を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。複数名でご参加希望の場合、ハガキ、ファックスについては、人数分の必要事項を明記してください。</p> <p>〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階 「ナカノシマ大学6月講座」受付係 FAX.06-4799-1341</p> <p>※先着順で受付後、5月20日前後より受講票をお送りします。</p> <p>※受講料は講座当日に受付にてお支払いください。</p> <p>※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。</p> <p>※当日のお車ならびに自転車でのご来場はご遠慮ください。</p>
------	---	--

ナカノシマ大学の最新情報は
<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは
こちら!→



お問い合わせ ☎ 06-4799-1340
(ナカノシマ大学事務局)

笑う落語の大阪

第二十五回 高島幸次

東京と山村（群馬県上野村）の往復生活をしている哲学者・内山節には、『日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか』（講談社現代新書、2007年）という好著がある。

内山は「一九六五年以降は、あれほどあったキツネにだまされたという話が、日本の社会から発生しなくなつたと指摘する。タヌキ・ムジナ・イタチなども含めて、全国一斉にだまされなくなったという。

そして、内山がその画期とする年の翌1966年に、落語作家の三田純市が桂米朝のために『まめだ』を書き下ろしている。三田が内山の著作を知るわけではないがこのタイミングで、豆狸が人間をだます術を創作したのが面白い。

主人公は、市川右三郎という明治後期・大正期の歌舞伎役者だ。舞台は、三津寺（大阪市中央区）門前の膏薬屋で、右三郎の実家でもある。

現在では、三津寺のすぐ西は御堂筋南は道頓堀という繁華の地だが、この時代ならタヌキが出てもおかしくない土地柄だった。

牧村史陽『大阪ことば事典』で「ま

めだ」を引くと「豆だぬき、小だぬき」の語釈に加えて、俗語「雨がしよぼく降る晩に、まめだが徳利持つて酒買いに」を紹介している。

この俗語の後半は「酒屋のほんさん泣いていた。なあんで泣くか」と聞いたら、豆狸のお金が木の葉ゆえ」と続く。落語『まめだ』でも、豆狸が膏薬を買ったのは、木の葉のお金だった。

三津寺の豆狸の木の葉のお金。

ところで、梅田の阪急百貨店地下に「いなり寿司」の専門店『豆狸』がある。「いなり寿司」の名は、稲荷神の神使とされるキツネが「油揚げ」を好むことにちなむというが、なぜか店名は『豆狸』だ。

5月天神寄席の楽屋見舞いは『豆狸』の「豆狸いなり」にしようと思

うが、木の葉で買えるかしらん。5月天神寄席のゲストは、演出家のわかぎふささんです。桂春の輔師匠の『まめだ』も聞けます。

たかしまこうじ
大阪大学招聘教授、大阪天満宮文化研究所研究員、NPO上方落語支援の会理事など。

だましましたまされ、どんでん返しの五月寄席。
天満天神繁昌亭では、土地を提供している大阪天満宮に敬意を表し、毎月25日の夜席を「天神寄席」と銘打ち、さまざまな企画を開催している。5月に楽しめるネタは、人間に化ける狐や狸も登場して何ともにぎやか。多彩なキャラクターは、断家さんの演じ分けも腕の見せどころだ。ゲストは、演出家に劇作家、劇団座長や女優、エッセイスト……、これまた様々な顔を持つことで知られるわかぎふささんだ。

●5月のお題は「変化」

5月25日（水）

「化けて演じて芝居して」

落語／桂雀喜／野崎語り

桂吉坊／狐芝居

桂春之輔／まめだ

笑福亭生高／ツカタツ!

桂文之助／桜の宮

鼎談／落語を演出する

わかぎふさ／劇作家・演出家

高島幸次／大阪大学招聘教授

桂春之輔

ナカノシマ大学で前売り券を買うとお得!

「天神寄席の前売チケットをナカノシマ大学で買うと、2300円で入場できます。いつものナカノシマ大学と同じく、ウエラ、ハガキ、FAXでお申し込みを受付中。

開催日／5月25日（水）

開演時間／6:30PM（開場6:00PM）／受付開始5:45PM

受講料／2300円（通常）前売2500円／当日3000円

支払い方法／当日5:45PMより、繁昌亭前に仮設の「ナカノシマ大学受付」にて精算。

※予定枚数に達し次第、販売終了します。

※ナカノシマ大学で販売するチケットは前売り券のみです。当日券の販売はありません。

●申し込み方法はP.9を参照してください。

●問い合わせ ☎06-4799-1340（平日10:00AM～6:00PM）



大阪生まれのわかぎふささん。舞台で演じ分けると、波瀾万丈で面白い。

イラスト／フジワラトモコ

さんのは「桜の宮」。仮装した町人たちが、騒動を巻き起こす。

島民よ、この店のことを食べろ!

「おいしいエリア」を体現する、
「アマ・ルール」

第八回 あなどれないバスク料理店。 江弘毅 (本誌編集発行人)

中之島から堂島川を北に渡ると堂島である。

「堂島」といえば「北新地」と思われるが、旧くからの「堂島」は四つ橋筋を超えてさらに西へ、電通関西本社、高層ビルが建つNTTテレパーク堂島あたりまでがエリア。このあたりはオフィスビル街でもあり、北新地の夜の喧噪こそないが、ビルの1階に飲食店が並んだり、スキ間を縫うようにして良いレストランあったり、なかなかあなどれない「おいしいエリア」である。

本来北新地の店は、和・洋・中たとえば中国料理の大店「青冥」にしても、カウンター一本のうどん屋「黒門さかえ」にしても夜仕様の飲食店で、昼は「サービスマン」でランチをやっています」というスタンスが多い。北新地にはステーキハウスがたんとあるが、昼にはハンバーグなどサービスマンランチの皿が火が入っていない鉄板の前に置かれ、食べるというスタイルは新地ならではだ。よそから来た人を連れて行くと「へえ」



と驚いている。わたしの場合など「昼だけ知ってる店」、つまり夜は一回も行ったことがない高級割烹やレストランなのに、サービスマンランチでちよくちよく行っている店が多い(セコイと言わないで)。このバスク料理レストラン「アマ・ルール」も

を展開する「エル・ポニエンテ」の小西シェフの店だ。以前、ダイビル本館にあった「エルポニエンテ・カボ」とオフィスが同フロアだったこともあって、昼も夜もそれこそ毎週のように食べていた。エルポニエンテの料理は完成度が高くて実に楽しい。その中であってここバスク料理の「アマ・ルール」は異彩を放っている。ランチは必ず始めにスープが出てくるのだが、ニンニクのスープにしてもポタージュにしても、この店の特徴が一番出ている。バスク語の店名の通り「母なる大地」の味、それも極めて洗練された形で出ていると思う。バスク料理についてはスペインのバスク州由来なのか、広くフランスを含めたバスク系のものなのかよく知らないが、アラン・デュカスのブタンノワール(血のソーセージ)のおいしかった記憶が舌に刻まれていて、それらを含めたバスク料理に対しての感覚は「とても合う」だ。

もちろんデザイナー中心の店だが、北新地の「接待仕様」の店ではない。だから夜も昼も楽しんでいけるが、このところ「平日限定ビジネスランチ」にとってもはまっていて、週1ペースで行っている。この店は淀屋橋とキタに6軒のスペイン料理店



アマ・ルール

4月に4周年を迎えたばかり。開店当初から行っていて「そうかも4年か」となった。ランチ(1,080円)は毎月1日と15日前後で替わり、スープとメイン料理、パン、コーヒーか紅茶がつく。☎06-6451-8383 11:30AM~2:00PM 5:30PM~10:00PM 日曜休



→なんと前回から一年半ぶりの登場。ずいぶん唐突だが、お久しぶりです。近頃は自分で撮って食べて書いて、「ぐるたび」といったWebマガジンにも顔を出しています。

今月のテーマ【ゆるキャラ】

施設や文化のPRに奔走する、中之島界隈の「見かけたことある」ゆるキャラ大集合。実はこんな誕生秘話やプロフィールがあったと、知っていましたか？

取材・文／江口由夏



審査員／堀埜浩二さん

イベントプロデューサーとして「中之島なつまつり」などに関わるほか、堺観光PRキャラクター「ザビエくん」の開発も手がける。音楽全般に造詣が深く、この4月に『ももクロを聴け!』（プリコロール・パブリッシング）を上梓。



黄色い影が見えたら
ご利益あり？

少彦名神社 神農さま

神農さまは、少彦名神社（P6）にも祀られている中国の神様「神農炎帝」なのじゃ！よく気さくて脳天気と言われるぞよ！もともと治験をサポートしている「インクコム株式会社」にお世話になっておったんじゃが、まちの人々と仲良くなりたくて神社のお手伝いをしていたら、2年前に公認してもらったんじゃな〜！嬉しかったのじゃ！神農祭や献湯祭でお会いできるのを楽しみにしておるぞよ！ぜひ神農さまのヒゲに触ってくださいませなのじゃ！

 健康と医学の神様が、愛嬌抜群のキャラクターに。それだけでも有り難いのに、ヒゲに触るとラッキーが…という設定も気が利いています。全体的に明るい黄色なので、風水的に金運上昇感があるのも、魅力のポイントと見る。

ドーゾマ地下センター 堂島ちか

去年の7月1日に、このドーチャカに引っ越してきたばかりです。私の実家「堂島家」のご先祖さまは、江戸時代にあった堂島米会所で働いていたので、中之島には深いゆかりがあります！仲良くしてね。ドーチャカがこの7月1日に50歳のお誕生日を迎えるので、私も一生懸命盛り上げちゃうよ。普段の顔は、商売繁盛の神様を祀る神社の福娘。私を見かけると幸福がやってくるよ！もう少ししたら、地下の「憩いスポット」で皆さんにご挨拶できる予定です！

 二俵の米俵を支えながらも笑顔であるという屈強の首が驚異的。俵を取ると小坊主っぽいの。この愛らしい二頭身スタイルが、着ぐるみになってどのような「庄」で迫ってくるのか？早く見てみたいですよ。



皆に福をもたらす
キュートな箱入り娘。



天神様のお膝元で
上方文化をアピール。

天満天神繁昌亭 小梅亭てんでん

初めまして！私は、天神さまこと菅原道真公が大事にしていた梅の妖精なんです。頭がいって言われると、嬉しいけれど照れちゃいますね。10年前に大阪天満宮の境内にできた、天満天神繁昌亭のにぎやかさにつられて、すっかり落語がお気に入り。もっと落語が好きな人が増えると、私も嬉しいな。繁昌亭のパフレットや記念グッズの中にある、私の姿を見つけてね！繁昌亭で待ってま〜す！

 これぞゆるキャラ！てな、全体的に投げやりな感じがなんと素晴らしい。特に顔と表情は、時代感覚を超越したユルユル具合。お膝元への出現回数が少ないレアキャラという点も含め、個人的にはイチ推し！



あつぱれ！

サイエンスメイトの
人気者はよく動く。

大阪科学技術館 テクノくん

サイエンスメイトのみんな、こんにちは！僕がいる大阪科学技術館は、日本を代表する企業や団体のみなさんが、自慢の技術をお披露目する玉手箱のような所だよ。僕はその名誉館長でもあるんだ。参加体験型が多いブースで、来館された方を案内したり、特技のローラーブレードを披露したりするよ。誕生日は昭和38年8月1日。そう、この施設と同じなんだ！昔は、朝ドラにも出ていた五代友厚さんのお屋敷があったんだって。それがご縁で、お屋敷にあった本物の瓦を展示し始めたよ。

 学級委員長な感じが「いかにも」ですなあ。しっかりデザインされ逸脱感がない分、ゆるキャラというより、フツーに親しまれるマスコットという印象。だが今年で53歳という高齢にも関わらず、ローラーブレードで走り回るとは見上げたものだ。それも科学技術のおかげで、てこと？

トウミン月報

2016年5月1日発行



京阪電車中之島線の4駅が美術館に見立てられ、色どりのアート作品で飾られる「キテ・ミテ中之島」。今年で5年目の開催となり、出勤前や後の島民たちや、観光で訪れる人々の目を惹きつけてきた。今年は「和気アイアイ・中之島」を合言葉に、アーティストたちが手がけた絵画や写真、沿線の幼稚園や小学校、商店街で行われたワークショップの作品が展示される。

期間中は見るだけでなく、体感型ワークショップも登場する。京阪電車らしいイベントなのは、樟葉・中之島間の貸切電車内や、中之島駅で停車中の車両内でアートに触れられる「アトリエトレイン」演奏あり、演劇あり、日常で使っている電車が異空間となり、ちょっと忘れられない体験になりそうだ。また、大江橋駅構内には「キテ・ミテアイアイ広場」が出現。週々で

行われるワークショップのほか、和楽器演奏と茶会を楽しむ会場、フェイスペイント体験や演劇ワークショップなど、にぎやかになる。(江口由夏・本誌)

駅からはじまるアートイベント「キテ・ミテ 中之島2016」

- みんなの駅美術館
期間／5月21日(土)～6月19日(日) 観覧無料
- アトリエトレイン～音とモノづくり～貸切列車の運転
日時／5月28日(土)樟葉駅13時32分発—中之島駅14時14分着(予定)
参加費／500円(小学生以上・税込・運賃含む) ※要申し込み
定員／120名(当選者には当選通知をもって連絡)
応募締切／5月16日(月) ※当日消印有効
- ◎応募方法や、その他ワークショップの日程は駅設置のチラシを参照
問い合わせ ☎06-6945-4560 ※平日9:00AM～7:00PM・土曜と休日は5:00PMまで(京阪電車お客さまセンター)



島民がヨロコぶ 天神橋の熱いバーガー

中之島と大阪天満宮を結ぶ天神橋筋商店街。そこに「美味いハンバーガー屋さん」が出来た。旨みのある肉と彩り豊かな野菜を、弾力性のあるしっとりとしたパンズで挟んだバーガーは、グロバルチェーンのものとは全然違う。「ザ・グレイトフル・バーガー シカゴギャルズストア」店

主で笑顔がキュートな金谷春菜さん(写真)は「ぎゅっと持っても形が崩れないパンズ」「コカ・コーラは絶対瓶入り」など目指すハンバーガー世界観をこの店で実現。取っ手付きの木製プレートでサーブされるバーガー(860円)をパクつきながら「コカ・コーラを瓶でグビッ。テラス席も楽しそうだし、テイクアウトして中之島や大川のほとりでアウトドアランチもよし。天

ザ・グレイトフル・バーガー・シカゴギャルズストア店
●大阪市北区天神橋1-12-22
☎06-4792-8334
11:00AM～7:00PM
不定休



夜こそ楽しいオフィス街に突入! 「中之島ナイトクルーズ」

寂しくなりがちな休日夜のオフィス街像もなんのその、最近の中之島エリアは名だたる橋や近代建築群のライトアップ、川に面したレストランのテラス席などで、夜もどんな活気を見せている最中だ。そんなにぎわいを体感できるのが、毎年この季節恒例の「中之島ナイトクルーズ」。主役は景色だけではなく、船上生ライブも間近で満喫できるのだから贅沢だ。ミナミの老舗レコード店「ザ・メロディ」、マスターの森本徹さんプロデュースのもと、ジャズにポップスになんでもぎょろの歌姫・

大阪水上バス「中之島ナイトクルーズ」
運航日／5月20日(金)・6月17日(金)・7月15日(金)・8月19日(金)・9月16日(金)
※雨天中止
時間／第1便7:00PM～ 第2便8:00PM～(各便約40分間)
料金／2,500円(ワンドリンク付き)
乗船場／大阪水上バス淀屋橋港
予約・問い合わせ ☎06-6252-6477(ザ・メロディ/3:00PM～)

大阪芸術大学音楽学科卒業の河本さんと、同学科で学んだ仲間たちの息が合った仲良しタッグも見せどころ。ワンドリンク片手に、乗り場横の「ミオバル」のフードを持ち込めば、シマ流の宴会タイムが始まる。(江口由夏・本誌)

河本萌さんがのびやかな歌声を披露する。



「この白木のカウンターが、まさに江戸前寿司の象徴なんです」と、一枚板にこだわったそれを指しながら、商品販売企画部長の雁部幸助さんは話す。

暖簾をくぐったその瞬間、大阪らしからぬ光景に出迎えられる。東京では22店舗の出店を誇る支持率も、西日本では大阪が「初めまして」。しかし雁部さんは、あえて関西風に味付けせず、江戸前寿司の魅力を伝道したいと語った。「大阪では立ち飲み屋のメニューとしての寿司はありますが、専門店は見かけませんでした。江戸前と大阪って、やはり味や形が少しずつ違うんです。うちをきっかけに、あちらの文化もいいもんだと思ってもらえたら」。

カウンターの前に立つと、板前の手元が丸見えなことに気づく。この緊張感も醍醐味のひとつ。創業地である新橋駅前店で自身も握っていた雁部さんは、「板前は注文をさっと聞いて、握って、その

間にお客さんとの会話も楽しむ。食べるより、おしゃべり目当ての常連さん多いくらい（笑）お客さんに鍛えてもらっています」。

テンポよく出された寿司を手でつまむのも、江戸前風。さらには、口に入れるとほろりと崩れるのも、



五感で楽しむ、江戸前の流儀。

【魚がし日本一】 ● 江戸前立喰い寿司

ネタは1貫75円からあり、2貫ずつ提供される。半日もの手間をかけた穴子（写真右・2貫150円）や、東京人にファンが多い光物はコハダ（写真左・2貫150円）など、リーズナブルながら見た目も味も新鮮。すぐに食べられる、急ぐビジネスマンの最適解だ。

江戸前寿司の特徴だ。「大阪は押し寿司の文化がありますから、シャリをちよつと固めに握る。江戸前は開けた穴に空気を入れるように握ります」。ネタで言えば、関西の鰻に対し、関東では穴子が欠かせない。気軽な立喰いといえど、ひと手間かけて締めたり煮たり漬け込んだり、丁寧に仕事をされた名物は口の中で甘くとろける。

さて、五感を使って味わう江戸前寿司、シメは鼻をツーンと抜けていく葉ワサビの手巻きを紹介したい。「騙されたと思って食べてみてください」

「ください」とは板前さんの言葉だが、葉ワサビが口の中をリセットする様はなんとも痛快。「これならもう少し食べられるな」と、いいタイミングでおすすめてくれる板前さんに、腹の内を見透かされた気分である。

祝祭へようこそ。

FESTIVAL
PLAZA

<http://festivalplaza.jp/>
提供 / 株式会社 朝日ビルディング



魚がし日本一

● 中之島フェスティバルタワーB1F

50種類以上のネタが常にそろい、大阪市中央卸売市場の状況によって新鮮な旬のネタが日替わりで登場。店内の手書きメニューは要チェック。今ならヒラマサや鰯など。季節限定のネタが入った10貫セットの「旬にぎり」864円を始め、ランチタイムがお得。持ち帰り用や、パーティー用にも対応。☎06-6484-6328 11:00AM～11:00PM (LO10:00PM / ランチタイム～5:00PM)

大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅/京阪シティモール/京阪モール/テリス天満橋店/ホテル京阪天満橋/ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 [書店]旭屋書店 梅田地下街店/紀伊國屋書店 梅田本店/グランフロント大阪店・本町店/ジュンク堂書店 大阪本店/梅田ヒルトンプラザ店/天満橋店/MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店/文教堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店 [公共施設・大学関連施設など]アイスポット/朝日カルチャーセンター/味の素 食のライブラリー/ABC朝日放送/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市中央公会堂/大阪市立科学館/大阪市立総合生涯学習センター/大阪市役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪ボランティア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪城スクエア/大阪梅田サテライト/川の駅はちけんや/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大阪シティキャンパス/国立国際美術館/CITY NAIL'Sインターナショナルスクール/芝ビル/市立住まい情報センター/少彦神社/中央電気倶楽部/ホテルNCB/メビック扇町/立命館大阪オフィス/龍谷大学大阪梅田キャンパス [店舗・医院など]アンドール 本町本店/上町貸自転車/Ultra 2nd/江戸前鮎料理 志津可/天満橋鍼灸整骨院/MJB珈琲店/エルマーズグリーン コーヒーカウンター/大西洋服店/OOO(オー)・カセット/喫茶カウンター/喫茶SAWA/グラスイート中之島/黒門さかえ/コマカフェ/The Court/サトウ花店 中之島本店/ザ・モディ/シアトルベストコーヒー-新聞電ビル店/じろう亭/Girond's JR/心齋橋山田兄弟歯科/住友病院/セブンイレブン大阪証券取引所店/タビエスタイル/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャーノ/バスターレー/花かつ/BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマニアカフェ/FOLK/プレミアムハウス/ミニジロー/宮崎歯科/やきとりはかや/吉田理容所/LES LESTON
- 大阪市内その他 [書店]紀伊國屋書店 京橋店/ジュンク堂書店 難波店/福島書店 柳ヶ堂/ループル書店 [公共施設・大学関連施設など]大阪科学技術館/大阪市社会福祉研修-情報センター/大阪市立中央図書館/大阪府立江之子島文化芸術創造センター/川口基督教教会 [店舗・医院など]あじさい/アートアンドクラフ/欧風食堂 ミリパル/大阪シティ信用金庫 江戸堀支店/御舟かもめ/Calo Bookshop and cafe/写真とプリント社/鳥かごキッチン/ネイルサロン スワナ/バルビコ/ホテル64オオサカ/MANGUEIRA/Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂/Books 呼文堂/水嶋書房 くずはモール店/大阪狭山市立図書館/大阪市立難波市民学習センター/大阪大学企画広報-社学連携事務局/大阪大学 21世紀懐徳堂/大阪大学本部/摂南大学 地域連携センター/野村呼文堂/郵政考古学会/ゆったりんこ/連携考房 童子
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店/恵文社 一乗寺店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/川のほとりの美術館/納屋工房/タバーン・シンパソン/百練/奈良県立図書館情報館
- 東京 往来堂書店(千駄木)/BOOKSルー(吉祥寺)/B&B(下北沢)/隣町珈琲(原宿)・ONLY FREE PAPER(渋谷)

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 すごいぞ! 京阪電車2016

世間の鉄道ブーム以前から、私たち乗客を魅了し続けている京阪電車。
2016年のリアルタイムでの楽しみ方を中心に、あらためてスポットをあてる。

●『月刊島民』vol.95は2016年6月1日発行です!

編集・発行人/江 弘毅(編集集団140B)
編集・発行/月刊島民プレス
若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)
松本 創 江口由夏 大迫 力(編集集団140B)
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341
制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)
デザイン/山崎慎太郎
表紙イラスト/奈路道程
印刷/佐川印刷株式会社

京阪のる人、 おけいはん。



ちよっと旅する
京都です。

出町柳駅下車「賀茂大橋」
出町柳けい子



www.okeihan.net

沿達おけいはん 検索  